

(H29)

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																														
<p>第2章 土木設計業務等標準歩掛</p> <p>第8節 橋梁設計</p> <p>8-2-11 架設計画（1工法）</p> <p>(1) 適用範囲 本歩掛は、橋梁上部工の架設計画及び架設工設計に適用する。なお、迂回路等に係わる設計は含まないものとする。</p> <p>(2) 標準歩掛</p> <p style="text-align: center;">(架設工法Ⅲ) (1工法当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分 \ 職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主 任 技 術 者</th> <th>技 師 長</th> <th>主 任 技 師</th> <th>技 師 (A)</th> <th>技 師 (B)</th> <th>技 師 (C)</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 橋梁上部工架設工法別工法一覧表の架設工法Ⅲに適用する。 2. トラック（クローラ）クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設は橋梁上部工の歩掛に含むものとする。 3. フローティングクレーン工法、台船工法による一括架設及びケーブルエレクション斜吊工法等の特殊工法は、対象としない。 4. 設計協議については、主目的とする構造物の設計協議に含むものとする。 5. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。</p> <p>増 減 率</p> <p>1) 架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の応力計算、安定計算が必要となる場合（架設工法Ⅰ） 標準歩掛の 190%</p> <p>2) 架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり、かつ仮設部材の応力計算、安定計算が必要となる場合（架設工法Ⅱ） 標準歩掛の 247%</p>	区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費							主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	設 計 計 画			0.4	1.0				設 計 計 算				0.6	0.8	0.9		設 計 図					1.1	1.2		数 量 計 算						0.6		照 査				0.4	0.5	0.3		報 告 書 作 成					0.8	0.8		合 計			0.4	2.0	3.2	3.8		<p>第2章 土木設計業務等標準歩掛</p> <p>第8節 橋梁設計</p> <p>8-2-11 架設計画（1工法）</p> <p>(1) 適用範囲 本歩掛は、橋梁上部工の架設計画及び架設工設計に適用する。なお、迂回路等に係わる設計は含まないものとする。</p> <p>(2) 標準歩掛</p> <p style="text-align: center;">(1工法当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分 \ 職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主 任 技 術 者</th> <th>技 師 長</th> <th>主 任 技 師</th> <th>技 師 (A)</th> <th>技 師 (B)</th> <th>技 師 (C)</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">2.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">0.0</td> <td style="text-align: center;">0.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが、仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合（架設工法Ⅰ）に適用する。 2. トラック（クローラ）クレーンによる直接架設で、かつ支保工の必要のない簡易な架設は橋梁上部工の歩掛に含むものとする。 3. フローティングクレーン工法、台船工法による一括架設及びケーブルエレクション斜吊工法等の特殊工法は、対象としない。 4. 設計協議については、主目的とする構造物の設計協議に含むものとする。 5. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。</p> <p>増 減 率</p> <p>1) 架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因となり、かつ仮設部材の設計計算、安定計算が必要となる場合（架設工法Ⅱ） 標準歩掛の 130%</p> <p>2) 架設工法Ⅰ、Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ、Ⅱに比べて比較的簡易な工法でトラック（クローラ）クレーンによるベント架設などの場合（架設工法Ⅲ） 標準歩掛の 40%</p>	区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費							主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	設 計 計 画			0.5	1.5				設 計 計 算				1.0	1.5	1.0		設 計 図					1.5	1.0	1.0	数 量 計 算						1.0	1.5	照 査				1.0	2.5	1.0		報 告 書 作 成					1.0	1.5		合 計	0.0	0.0	0.5	3.5	6.5	5.5	2.5	
区 分 \ 職 種		直 接 人 件 費																																																																																																																																														
	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員																																																																																																																																									
設 計 計 画			0.4	1.0																																																																																																																																												
設 計 計 算				0.6	0.8	0.9																																																																																																																																										
設 計 図					1.1	1.2																																																																																																																																										
数 量 計 算						0.6																																																																																																																																										
照 査				0.4	0.5	0.3																																																																																																																																										
報 告 書 作 成					0.8	0.8																																																																																																																																										
合 計			0.4	2.0	3.2	3.8																																																																																																																																										
区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																															
	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員																																																																																																																																									
設 計 計 画			0.5	1.5																																																																																																																																												
設 計 計 算				1.0	1.5	1.0																																																																																																																																										
設 計 図					1.5	1.0	1.0																																																																																																																																									
数 量 計 算						1.0	1.5																																																																																																																																									
照 査				1.0	2.5	1.0																																																																																																																																										
報 告 書 作 成					1.0	1.5																																																																																																																																										
合 計	0.0	0.0	0.5	3.5	6.5	5.5	2.5																																																																																																																																									

(H29)

改 正	現 行	備 考																																				
橋梁上部工架設工法別工法一覧表	橋梁上部工架設工法別工法一覧表																																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">鋼 橋</th> <th style="width: 45%;">コンクリート（PC）橋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅰ</td> <td colspan="2">架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅱ</td> <td colspan="2">架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)送出し工法 (ロ)トラベラクレーン工法</td> <td>(イ)移動式支保工架設工法（ハンガータイプ） (ロ)移動式支保工架設工法（サポートタイプ）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅲ</td> <td colspan="2">架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ハ)クレーン架設工法（門型クレーン）</td> <td>(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)固定式支保工架設工法（上路式） (ハ)架設桁架設工法（吊下げ式） (ニ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ホ)クレーン架設工法（門型クレーン）</td> </tr> </tbody> </table>		鋼 橋	コンクリート（PC）橋	架設工法Ⅰ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。		(イ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）		架設工法Ⅱ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。		(イ)送出し工法 (ロ)トラベラクレーン工法	(イ)移動式支保工架設工法（ハンガータイプ） (ロ)移動式支保工架設工法（サポートタイプ）	架設工法Ⅲ	架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。		(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ハ)クレーン架設工法（門型クレーン）	(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)固定式支保工架設工法（上路式） (ハ)架設桁架設工法（吊下げ式） (ニ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ホ)クレーン架設工法（門型クレーン）	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">鋼 橋</th> <th style="width: 45%;">コンクリート（PC）橋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅰ</td> <td colspan="2">架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)ケーブルクレーンによるベント工法 (ロ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）</td> <td>(イ)張り出し式架設工法 柱頭部の吊り支保工等を対象とする （片持式架設工法） (ロ)梁式支保工工法 (ハ)梁，支柱式支保工工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅱ</td> <td colspan="2">架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)送り出し架設工法 (ロ)ケーブルクレーンによる片持架設工法 (ハ)トラベラクレーンによる片持架設工法 (ニ)バランスドキャンチレバー工法</td> <td>(イ)移動式支保工架設工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">架設工法Ⅲ</td> <td colspan="2">架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。</td> </tr> <tr> <td>(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法</td> <td>(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法 (ニ)門型クレーン工法</td> </tr> </tbody> </table>		鋼 橋	コンクリート（PC）橋	架設工法Ⅰ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。		(イ)ケーブルクレーンによるベント工法 (ロ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）	(イ)張り出し式架設工法 柱頭部の吊り支保工等を対象とする （片持式架設工法） (ロ)梁式支保工工法 (ハ)梁，支柱式支保工工法	架設工法Ⅱ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。		(イ)送り出し架設工法 (ロ)ケーブルクレーンによる片持架設工法 (ハ)トラベラクレーンによる片持架設工法 (ニ)バランスドキャンチレバー工法	(イ)移動式支保工架設工法	架設工法Ⅲ	架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。		(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法	(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法 (ニ)門型クレーン工法	
	鋼 橋	コンクリート（PC）橋																																				
架設工法Ⅰ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。																																					
	(イ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）																																					
架設工法Ⅱ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。																																					
	(イ)送出し工法 (ロ)トラベラクレーン工法	(イ)移動式支保工架設工法（ハンガータイプ） (ロ)移動式支保工架設工法（サポートタイプ）																																				
架設工法Ⅲ	架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。																																					
	(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ハ)クレーン架設工法（門型クレーン）	(イ)トラッククレーンベント工法 (ロ)固定式支保工架設工法（上路式） (ハ)架設桁架設工法（吊下げ式） (ニ)クレーン架設工法（自走式クレーン） (ホ)クレーン架設工法（門型クレーン）																																				
	鋼 橋	コンクリート（PC）橋																																				
架設工法Ⅰ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の要因とはならないが仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。																																					
	(イ)ケーブルクレーンによるベント工法 (ロ)ケーブルエレクション工法（直吊り工法）	(イ)張り出し式架設工法 柱頭部の吊り支保工等を対象とする （片持式架設工法） (ロ)梁式支保工工法 (ハ)梁，支柱式支保工工法																																				
架設工法Ⅱ	架設時の応力が橋梁上部の断面決定の一つの要因となり，かつ仮設部材の応力計算，安定計算が必要となるもの。																																					
	(イ)送り出し架設工法 (ロ)ケーブルクレーンによる片持架設工法 (ハ)トラベラクレーンによる片持架設工法 (ニ)バランスドキャンチレバー工法	(イ)移動式支保工架設工法																																				
架設工法Ⅲ	架設工法Ⅰ，Ⅱ以外の工法で架設工法Ⅰ，Ⅱに比べて比較的簡易なもの。																																					
	(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法	(イ)トラック（クローラ）クレーンによるベント式工法 (ロ)固定式支保工架設工法 (ハ)架設桁架設工法 (ニ)門型クレーン工法																																				

(H29)

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																												
<p>15-3 溪流保全工設計</p> <p>15-3-1 溪流保全工詳細設計</p> <p>(1) 標準歩掛</p> <p>本歩掛の適用範囲は溪流保全工延長 250m 以下、溪流保全工幅 60m 以下とし、溪流保全工延長 250m を超え 1,000m 以下については表 15. 1 の歩掛補正率による。ただし、溪流保全工延長 1,000m を超えるもの溪流保全工幅 60m を超えるものについては別途計上する。</p> <p style="text-align: right;">(1 箇所当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任技術者</th> <th style="text-align: center;">技師長</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技師 (A)</th> <th style="text-align: center;">技師 (B)</th> <th style="text-align: center;">技師 (C)</th> <th style="text-align: center;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基 本 事 項 決 定</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">施 設 計</td> <td>護 岸 工</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>床 固 工</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>帯 工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>護 床 工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>施工計画・仮設構造物設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総 合 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>3.5</td> <td>11.5</td> <td>13.4</td> <td>11.4</td> <td>15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 溪流保全工幅とは、溪流保全工護岸天端間の内幅とする。 2. 詳細設計において現地踏査を行う場合は、(技師 (A) 1.0 人、技師 (B) 1.5 人) を別途計上する。 3. 施設設計の小項目に該当しない工種がある場合はその人員数を控除するものとする。また、管理用道路設計及び景観設計を行う場合は表 15. 2 により別途計上する。 4. 床固工及び帯工を複数基設計する場合は、床固工及び帯工の人員を表 15. 3 により補正するものとする。 5. 付属施設として取水工・排水工の設計を行う場合は、表 15. 4 により別途計上する。 6. 階段工及び魚道工を行う場合は別途計上する。 7. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。</p> <p>(2) 溪流保全工詳細設計歩掛の補正等</p> <p>表 15. 1 歩掛補正率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">溪流保全工延長</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>250m以下</th> <th>250m~1,000m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 率</td> <td>100 (%)</td> <td>y=0.07(x)+82.5 (%)</td> <td>y:補正率(%表示の小数点以下四捨五入) x:溪流保全工延長 (m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上記歩掛補正率は、床固工・帯工・管理用道路・景観設計及び現地踏査には適用しない。</p>	職 種	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	設 計 計 画			0.5	1.0	1.5			基 本 事 項 決 定			0.5	1.0	1.0			施 設 計	護 岸 工			1.5	1.0	2.0	3.0	床 固 工			2.0	2.0	1.5	2.5	帯 工					1.0	2.0	護 床 工				1.5	1.5	1.0	施工計画・仮設構造物設計				1.5	1.0	1.5	数 量 計 算				1.0	2.0	2.5	3.0	照 査			0.5	1.5	0.9	0.9		総 合 検 討			1.0	2.0	0.5			報 告 書 作 成			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0	合 計	0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0		溪流保全工延長		摘 要	250m以下	250m~1,000m以下	補 正 率	100 (%)	y=0.07(x)+82.5 (%)	y:補正率(%表示の小数点以下四捨五入) x:溪流保全工延長 (m)	<p>15-3 溪流保全工設計</p> <p>15-3-1 溪流保全工詳細設計</p> <p>(1) 標準歩掛</p> <p>本歩掛の適用範囲は溪流保全工延長 250m 以下、溪流保全工幅 60m 以下とし、溪流保全工延長 250m を超え 1,000m 以下については表 15. 1 の歩掛補正率による。ただし、溪流保全工延長 1,000m を超えるもの溪流保全工幅 60m を超えるものについては別途計上する。</p> <p style="text-align: right;">(1 箇所当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任技術者</th> <th style="text-align: center;">技師長</th> <th style="text-align: center;">主任技師</th> <th style="text-align: center;">技師 (A)</th> <th style="text-align: center;">技師 (B)</th> <th style="text-align: center;">技師 (C)</th> <th style="text-align: center;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基 本 事 項 決 定</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">施 設 計</td> <td>護 岸 工</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>床 固 工</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>帯 工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>護 床 工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>施工計画・仮設構造物設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総 合 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>3.5</td> <td>11.5</td> <td>13.4</td> <td>11.4</td> <td>15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 溪流保全工幅とは、溪流保全工護岸天端間の内幅とする。 2. 詳細設計において現地踏査を行う場合は、(技師 (A) 1.0 人、技師 (B) 1.5 人) を別途計上する。 3. 施設設計の小項目に該当しない工種がある場合はその人員数を控除するものとする。また、管理用道路設計及び景観設計を行う場合は表 15. 2 により別途計上する。 4. 床固工及び帯工を複数基設計する場合は、床固工及び帯工の人員を表 15. 3 により補正するものとする。 5. 付属施設として取水工・排水工の設計を行う場合は、表 15. 4 により別途計上する。 6. 階段工及び魚道工を行う場合は別途計上する。 7. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。</p> <p>(2) 溪流保全工詳細設計歩掛の補正等</p> <p>表 15. 1 歩掛補正率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">溪流保全工延長</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>250m以下</th> <th>250m~1,000m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補 正 率</td> <td>100 (%)</td> <td>y=0.07(x)+82.5 (%)</td> <td>y:補正率(小数点3位四捨五入2位止) x:溪流保全工延長 (m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上記歩掛補正率は、床固工・帯工・管理用道路・景観設計及び現地踏査には適用しない。</p>	職 種	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	設 計 計 画			0.5	1.0	1.5			基 本 事 項 決 定			0.5	1.0	1.0			施 設 計	護 岸 工			1.5	1.0	2.0	3.0	床 固 工			2.0	2.0	1.5	2.5	帯 工					1.0	2.0	護 床 工				1.5	1.5	1.0	施工計画・仮設構造物設計				1.5	1.0	1.5	数 量 計 算				1.0	2.0	2.5	3.0	照 査			0.5	1.5	0.9	0.9		総 合 検 討			1.0	2.0	0.5			報 告 書 作 成			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0	合 計	0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0		溪流保全工延長		摘 要	250m以下	250m~1,000m以下	補 正 率	100 (%)	y=0.07(x)+82.5 (%)	y:補正率(小数点3位四捨五入2位止) x:溪流保全工延長 (m)	
職 種	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																																							
設 計 計 画			0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																									
基 本 事 項 決 定			0.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																									
施 設 計	護 岸 工			1.5	1.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																																							
	床 固 工			2.0	2.0	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																							
	帯 工					1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																							
	護 床 工				1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																							
施工計画・仮設構造物設計				1.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																								
数 量 計 算				1.0	2.0	2.5	3.0																																																																																																																																																																																																																							
照 査			0.5	1.5	0.9	0.9																																																																																																																																																																																																																								
総 合 検 討			1.0	2.0	0.5																																																																																																																																																																																																																									
報 告 書 作 成			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																							
合 計	0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0																																																																																																																																																																																																																							
	溪流保全工延長		摘 要																																																																																																																																																																																																																											
	250m以下	250m~1,000m以下																																																																																																																																																																																																																												
補 正 率	100 (%)	y=0.07(x)+82.5 (%)	y:補正率(%表示の小数点以下四捨五入) x:溪流保全工延長 (m)																																																																																																																																																																																																																											
職 種	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																																							
設 計 計 画			0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																									
基 本 事 項 決 定			0.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																									
施 設 計	護 岸 工			1.5	1.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																																							
	床 固 工			2.0	2.0	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																							
	帯 工					1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																							
	護 床 工				1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																							
施工計画・仮設構造物設計				1.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																								
数 量 計 算				1.0	2.0	2.5	3.0																																																																																																																																																																																																																							
照 査			0.5	1.5	0.9	0.9																																																																																																																																																																																																																								
総 合 検 討			1.0	2.0	0.5																																																																																																																																																																																																																									
報 告 書 作 成			1.0	1.5	1.5	1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																							
合 計	0.0	0.0	3.5	11.5	13.4	11.4	15.0																																																																																																																																																																																																																							
	溪流保全工延長		摘 要																																																																																																																																																																																																																											
	250m以下	250m~1,000m以下																																																																																																																																																																																																																												
補 正 率	100 (%)	y=0.07(x)+82.5 (%)	y:補正率(小数点3位四捨五入2位止) x:溪流保全工延長 (m)																																																																																																																																																																																																																											